

教育実習では、大学の授業では学ぶことができない教師という仕事について学ぶことができたと考えます。まず私の教育実習先の実態は、とても元気な生徒が多く、授業中でも立ち歩いたり、廊下に出たりと全体的に落ち着きがありませんでした。そのため教師は授業を複数人で行い、また授業の空き時間には交代制で学校の見回りなどをしておられました。私は今まで学生としてもそのような実態の学校は経験したことがなく、衝撃を受けましたが教師の苦労や葛藤など楽しい面以外も学ぶことができ、結果良い経験となったと考えます。多くの点を学んだ中で特に良かったと感じる点は二点あります。

一点目は授業の導入部分の工夫が大切であると学んだ点です。実習中に私は社会（地理のヨーロッパ州の範囲）25 コマ、道徳 1 コマをさせていただきました。立ち歩く生徒にいかにも興味を抱かせるか、また全員の生徒に均等に授業範囲を理解させるにはどうしたらよいかとても苦勞し、はじめは授業が崩壊してしまいそうになりとても悩みました。教科担当の先生に助言をいただきながら授業を行う中で、興味を抱かせるには授業の導入部分で生徒の持っている知識を引き出し、言葉のキャッチボールを行うことが大切であると学びました。そしてその中で授業範囲について生徒の興味を引き出していく必要があると学びました。私は、授業のはじめに授業に関連したクイズや時事問題などもはさみどンドン生徒に発言させることで研究授業の頃には生徒の心もつかめるようになり、最終的には以前より楽しく中身の濃い授業運営ができるようになったと考えます。授業中は作業を行う時も、説明を加える時も生徒それぞれ理解のスピードや作業のスピードは本当に異なるということを実感し、しっかり机間巡視を行い、スピードに合わせて個々に声をかけ指示をする必要性も学ぶことができました。多くの授業を行い試行錯誤できたことはとても自分自身の成長に繋がったと考えます。

二点目は、生徒と教師の距離感や良い関係の築き方を実際に見て学ぶことができた点です。実習先の学校では、教師の指導を聞かず行動する生徒たちが多くいましたが、その中でそのような生徒と上手くコミュニケーションを取り良い関係を築いている教師の方々もたくさんおられました。そのような教師の方々は毎日教師から小さなことでも生徒に声をかけ生徒の身近な存在であるようにし、そして常に生徒の意見もしっかり立場に立って聞いており、そのような日々の努力がとても大切なのだと改めて実感することができました。そのような関係を築いているからこそ生徒が問題行動を起こし指導した際、生徒はしっかり指導を聞くのではないかと感じます。私自身、クラスの生徒と日々コミュニケーションを取る中で個々の生徒の性格を知り、それを元に最後にはしっかり悪いことをする生徒がいれば指摘できるようになり、その点は自分の中でとても成長した点であると考えています。

この実習で多くの教師の方々や生徒たちに会い、また授業をする中で「子どもが好き」ということを改めて実感することができ、教師の仕事に前より魅力を感じました。それだけではなく教師という仕事は、授業だけではなく様々な面で苦勞や葛藤があり、奥が深いということも実感しました。今後の生活においても今回実習で学んだ多くの点は絶対に活かせると考えます。とても良い経験になりました。